

避難訓練（浸水・土砂災害）の流れ

役割 分 担	指揮者（リーダー）	訓練 開 始	気象情報・自身または情報収集班長の進言で警戒態勢を執るかの判断				→	警戒態勢のレベルを決定し各班長に周知		→	状況で行動を決定 ・屋内安全確保 ・立ち退き避難 ・緊急安全確保		→	・状況把握 ・消防署、役場の連絡 ・周辺住民避難受入の判断 ・他の施設へ利用者の受入要請の判断 ・その他状況判断		→	警戒態勢終結		→	通常体制へ移行			
	情報収集担当		インターネット等で気象情報を調査し指揮者に報告				→	情報収集継続				→	・情報集約 ・指揮者の方針に沿った外部団体との交渉		→	指揮者に気象情報緩和を報告 （河川水位低下 ・土壌水分低下）							
	避難誘導班長		指揮者の指示を班員に周知 避難関係の詳細判断				避難経路 一時避難場所整備（上階・谷側） 避難順位決定				→	指揮者に状況報告				→	班員に通常体制に戻ることを周囲						
	班員						配車・車椅子・担架・スペース確保				→	班長に状況報告 ・道路状況 ・河川の状況											
	自衛対策班長		指揮者の指示を班員に周知 避難関係の詳細判断				必要資器材の準備				・指揮者に状況報告 ・指揮者に対策完了報告と避難誘導班の応援可否を進言				→	班員に通常体制に戻ることを周囲							
	班員						発電機・照明器具・排水ポンプ・土嚢・その他必要資器材の準備				班長に進捗状況を報告												

訓練終了

※避難訓練の参考資料として活用して下さい。実際に、電話等で情報伝達をすることによって充実した訓練になると思います。また、想定をアレンジするなどレベルアップに努めましょう。